



建物の「いのち」をつくる。 総合設備のダイダン

 **ダイダン** 東証プライム 1980

2024年8月 IR資料

空気

温度・湿度・風量を最適に保ち上質な空気のクオリティを創出する

- ビル空調設備
- 産業空調設備



水

高品質な水を供給しながらも、給排水や水のリサイクルも行う

- 給排水設備
- ユーティリティー設備



光

屋内外を美しく彩る光から、情報設備まで。最新の管理・制御技術で建物に命を吹き込む

- 情報通信設備
- 電気設備



大規模ビル、工場、病院、商業施設など、大型施設の
空調・給排水・電気の**総合設備**を設計・施工

1 ダイダンとは ≫ ダイダン120年のあゆみ

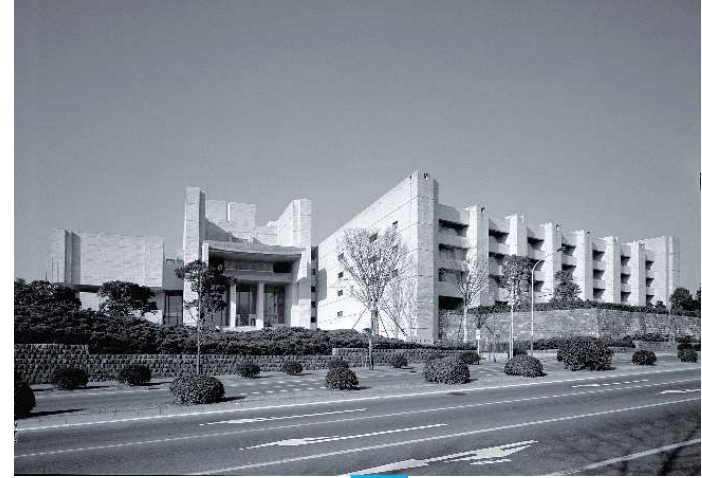
1903年大阪で創業

住友総本店



大手空調設備会社で
一番の歴史

最高裁判所庁舎



1900

1910

1920

1930

1940

1950

1960

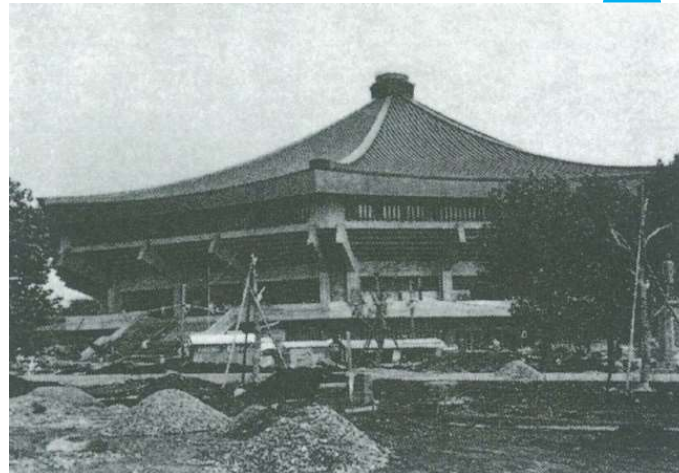
1970

1980

1990



大阪市役所



日本武道館

社名変更

大阪電気暖房株式会社

ダイダン株式会社

1 ダイダンとは ≫ ダイダン120年のあゆみ

関西国際空港旅客ターミナルビル



羽田空港 第二旅客ターミナル



netXDC データセンター



1990

2000

2010

2020



長野オリンピック記念アリーナ



JPタワー

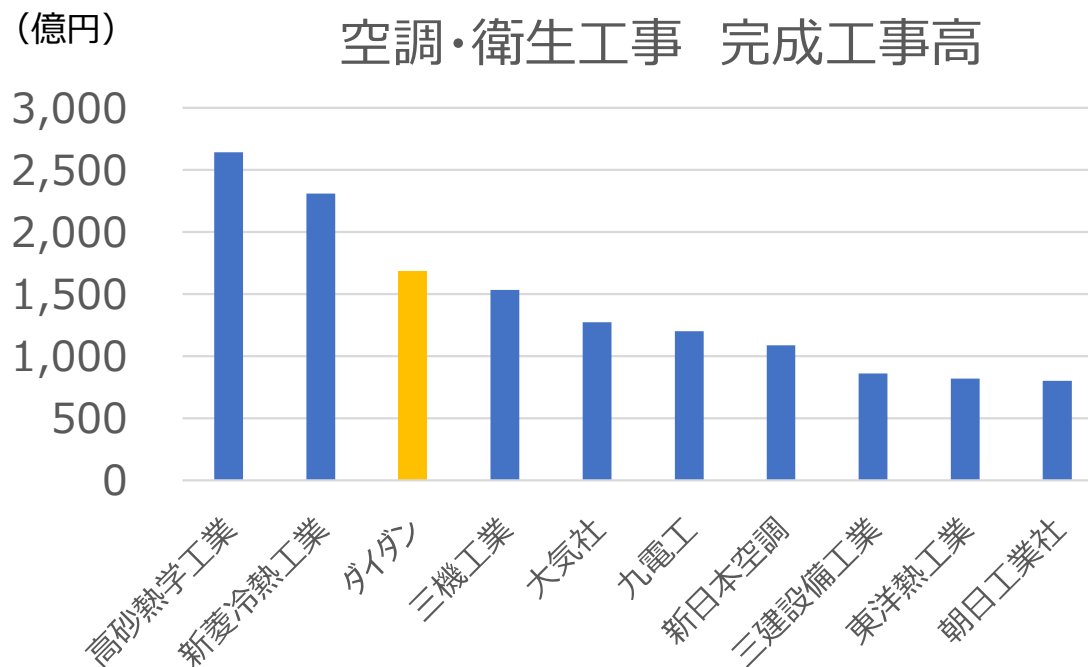
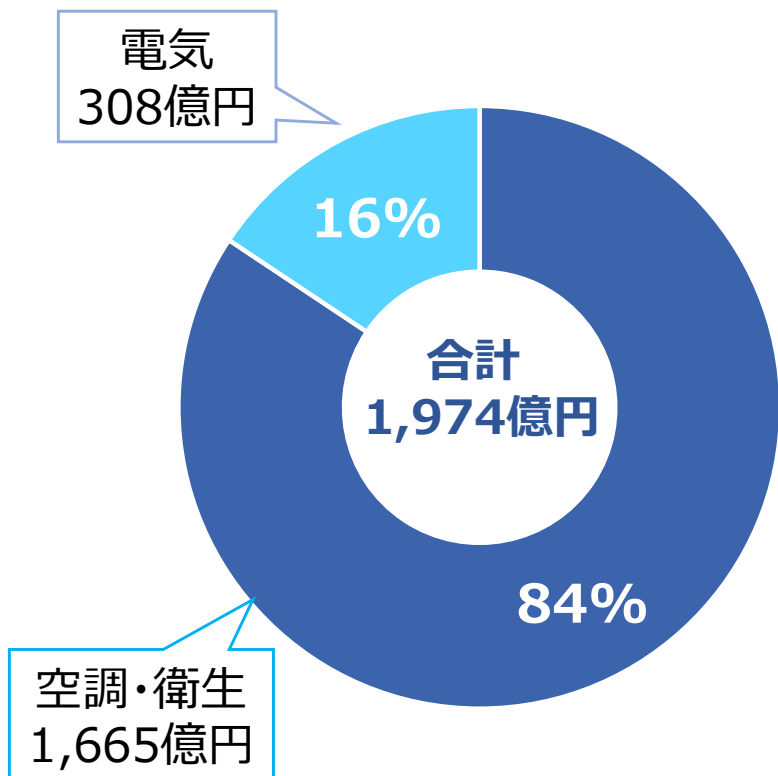


富山村田製作所



商号	ダイダン株式会社
本店	大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
東京本社	千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
売上高	1,974億円 (2024年3月期)
経常利益	119億円 (2024年3月期)
社員数	2,221名 (連結：2024年3月31日現在)
上場取引所	東京証券取引所 プライム (証券コード：1980)

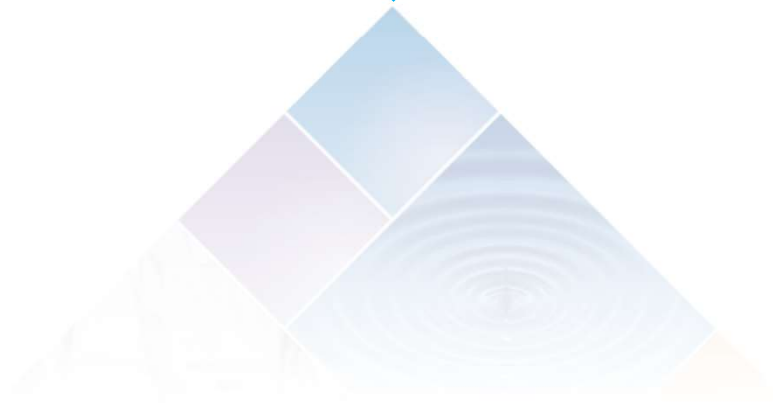
売上高の比率 (2024年3月期)



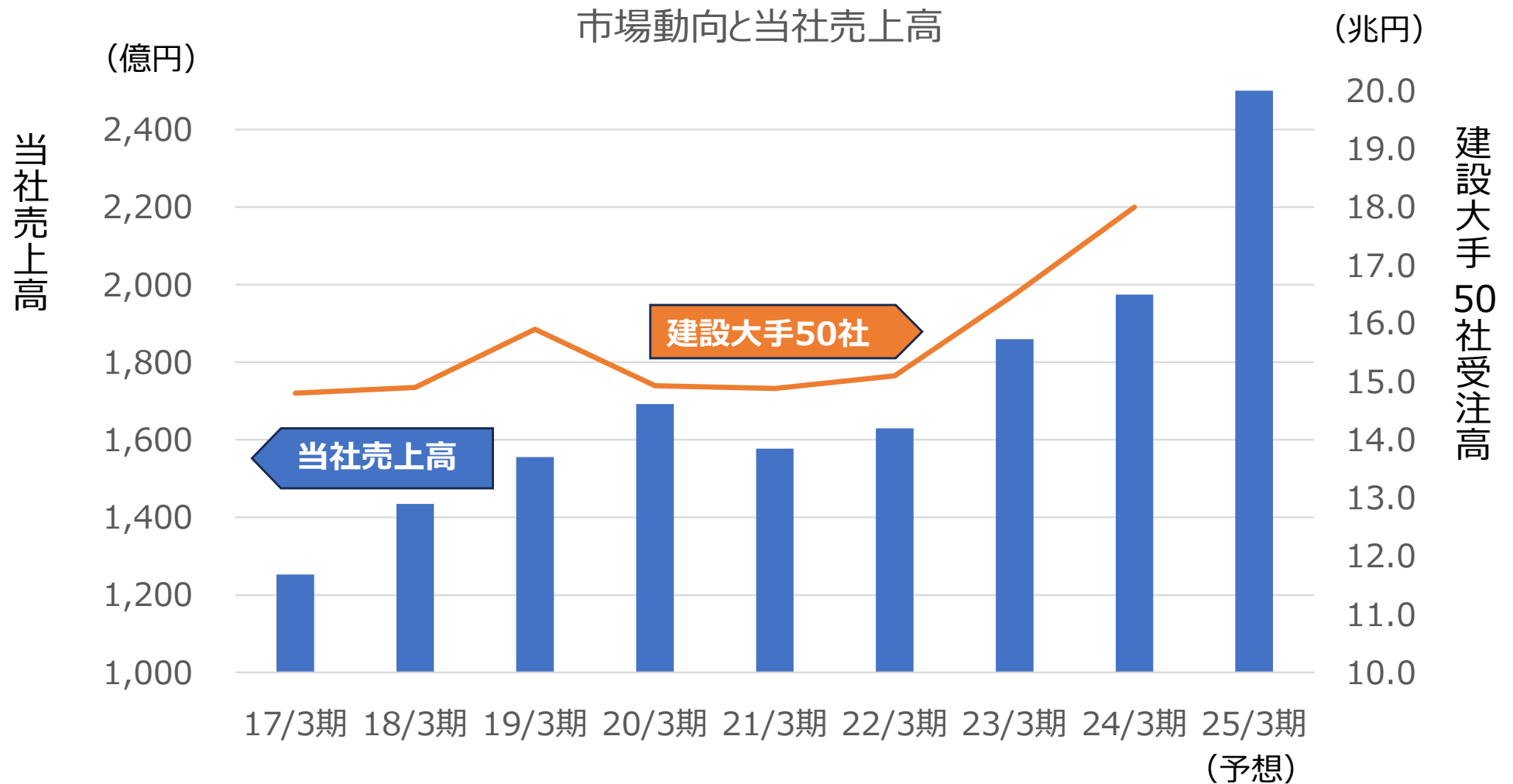
出所：日刊建設通信新聞社「設備工事業完工高ランキング」2024年3月期より当社作成

- 空調・衛生工事部門だけでなく電気工事部門を有する建築設備総合エンジニアリング会社
 - ✓ お客様にワンストップでのサービスが可能
- 空調・水道衛生工事は1,665億円となり、業界3位の規模

当社を取り巻く環境と 業績の推移



建設市場動向（建設大手50社受注高）と当社売上高



国内で半導体を生産する企業の合計売上高（半導体関連）



（出典）実績分について、世界全体の売上はOMDIA、日本国内売上は経済産業省「工業統計調査」の品目別出荷額の値を集計。出荷額については、半導体関連（半導体素子、光電変換素子、集積回路）及び、「他に分類されない電子部品・デバイス・電子回路」のうち半導体関連品目を出荷額ベースで按分した値の合計。

出所：経済産業省「半導体・デジタル産業戦略」より引用

- 半導体工場では製造環境の空気清浄が重要で、高性能クリーンルームの技術が必要

蓄電池の世界市場の推移

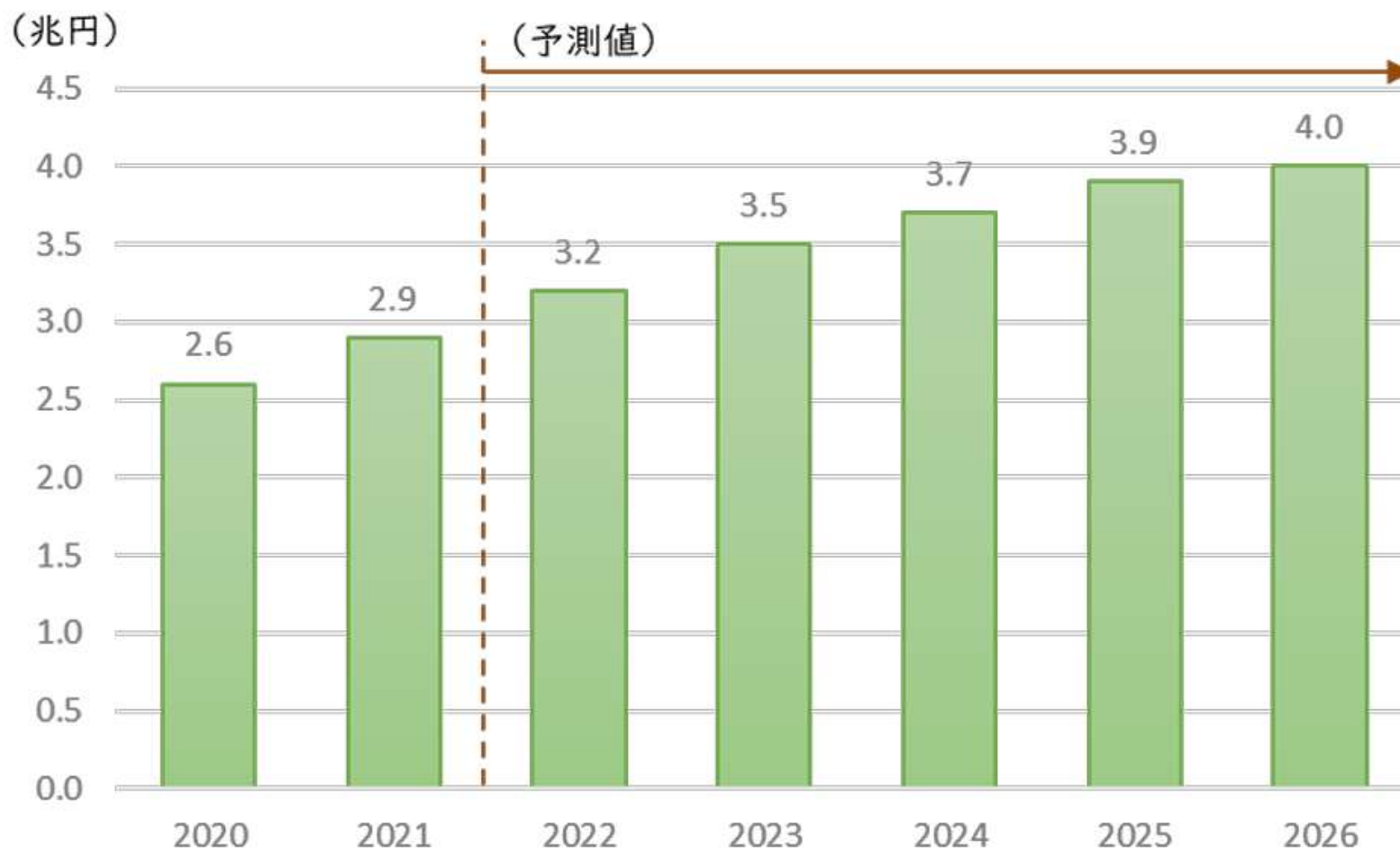


(出典) IRENA、企業ヒアリング等を元に、経済規模は、車載用パック（グローバル）の単価を、2019年2万円/kWh→2030年1万円/kWh→2050年0.7万円/kWhとして試算。定置用は車載用の2倍の単価として試算。

出所：経済産業省「半導体・デジタル産業戦略」より引用

- EV向けなど車載用蓄電池の製造プロセスでは、空気中の水分を除去したドライルームの技術が必要

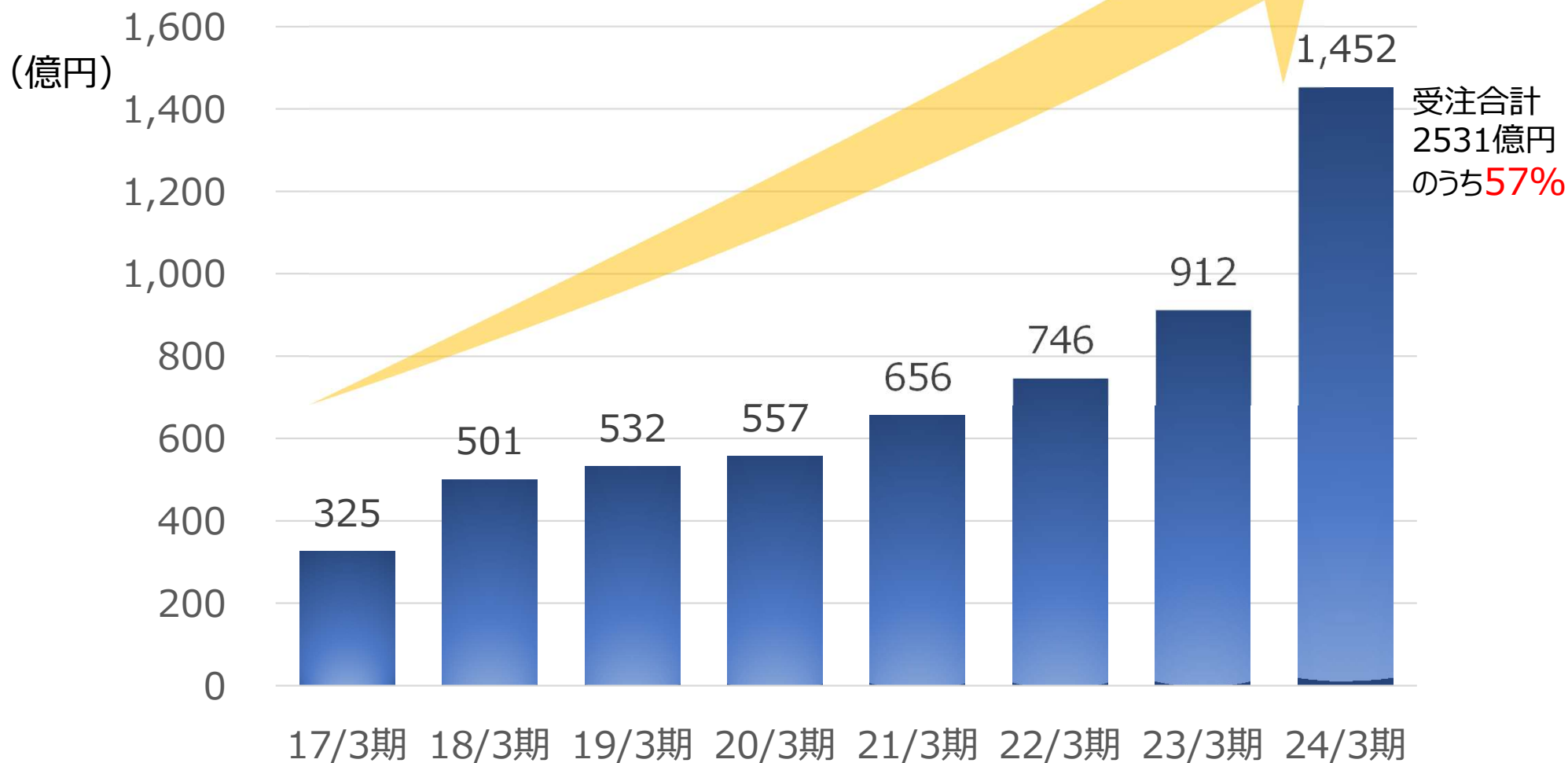
日本のデータセンターサービス市場規模の推移および予測



出所：経済産業省「半導体・デジタル産業戦略」より引用

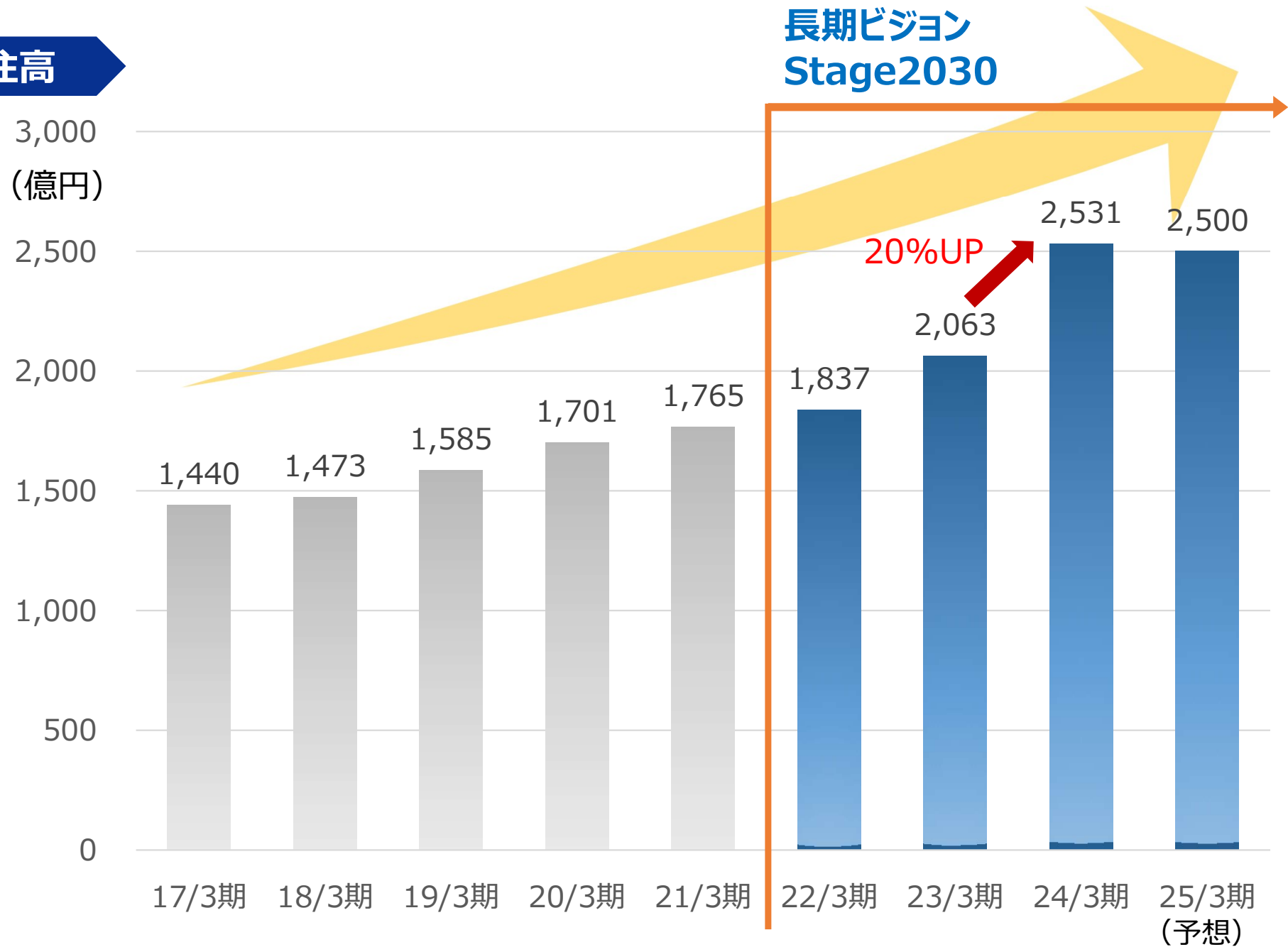
- データセンターでは、サーバーの熱を抑える大規模な空調技術が必要

産業施設工事の受注高

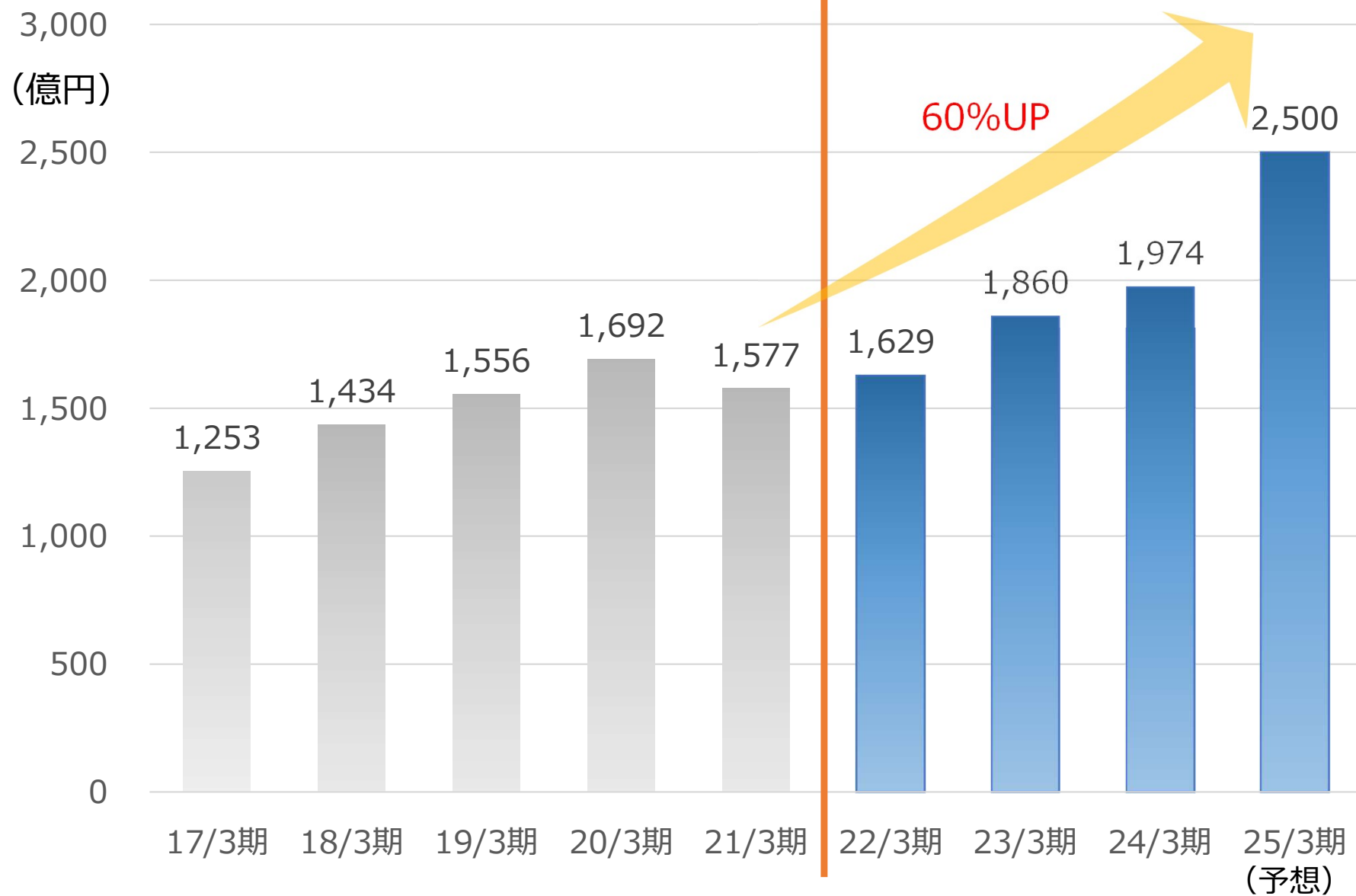


- 工場、研究施設、データセンター、物流施設を産業施設工事としている
- 直近では半導体関連工場、車載用電池工場、データセンターの拡大が顕著
- 大型工事の施工体制のルールを整備し、対応力を高めた

受注高

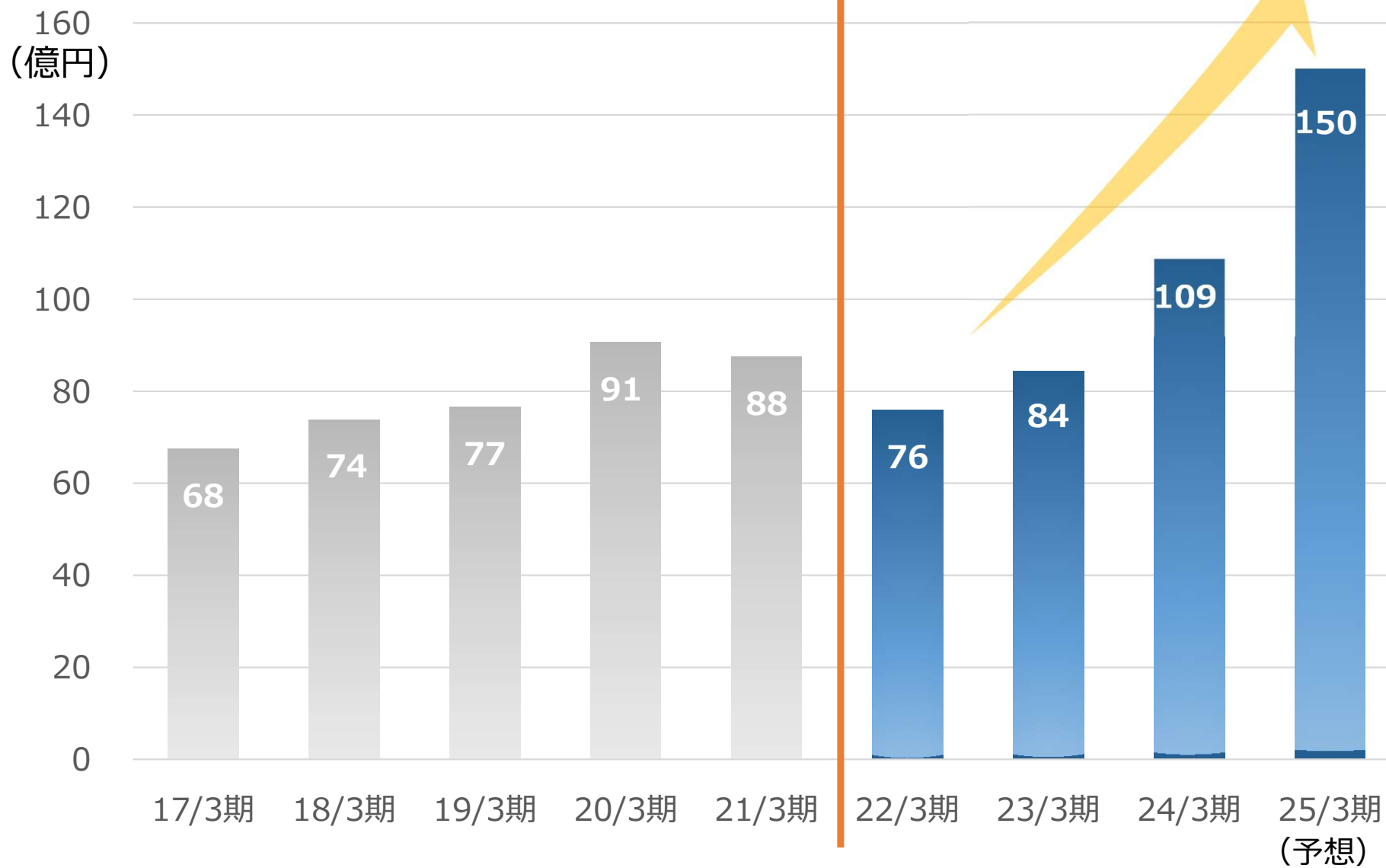


売上高

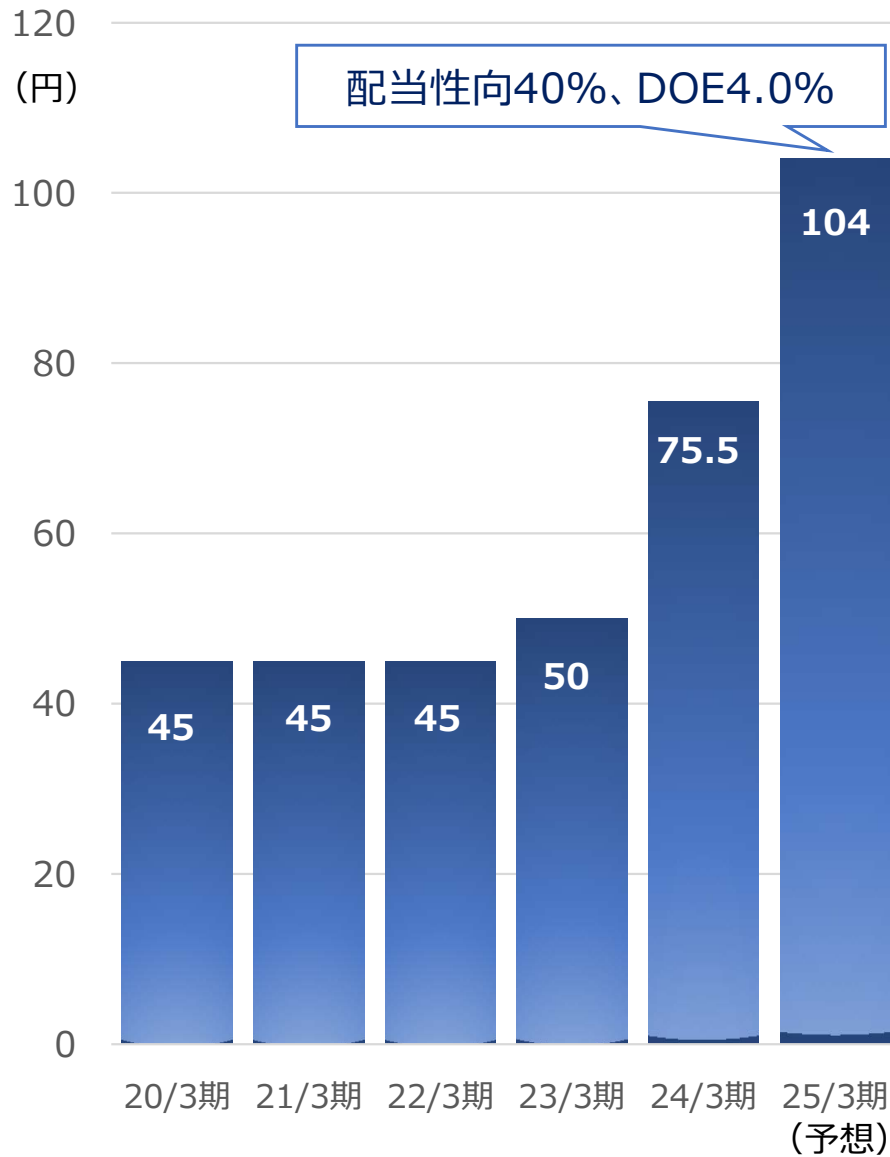


営業利益

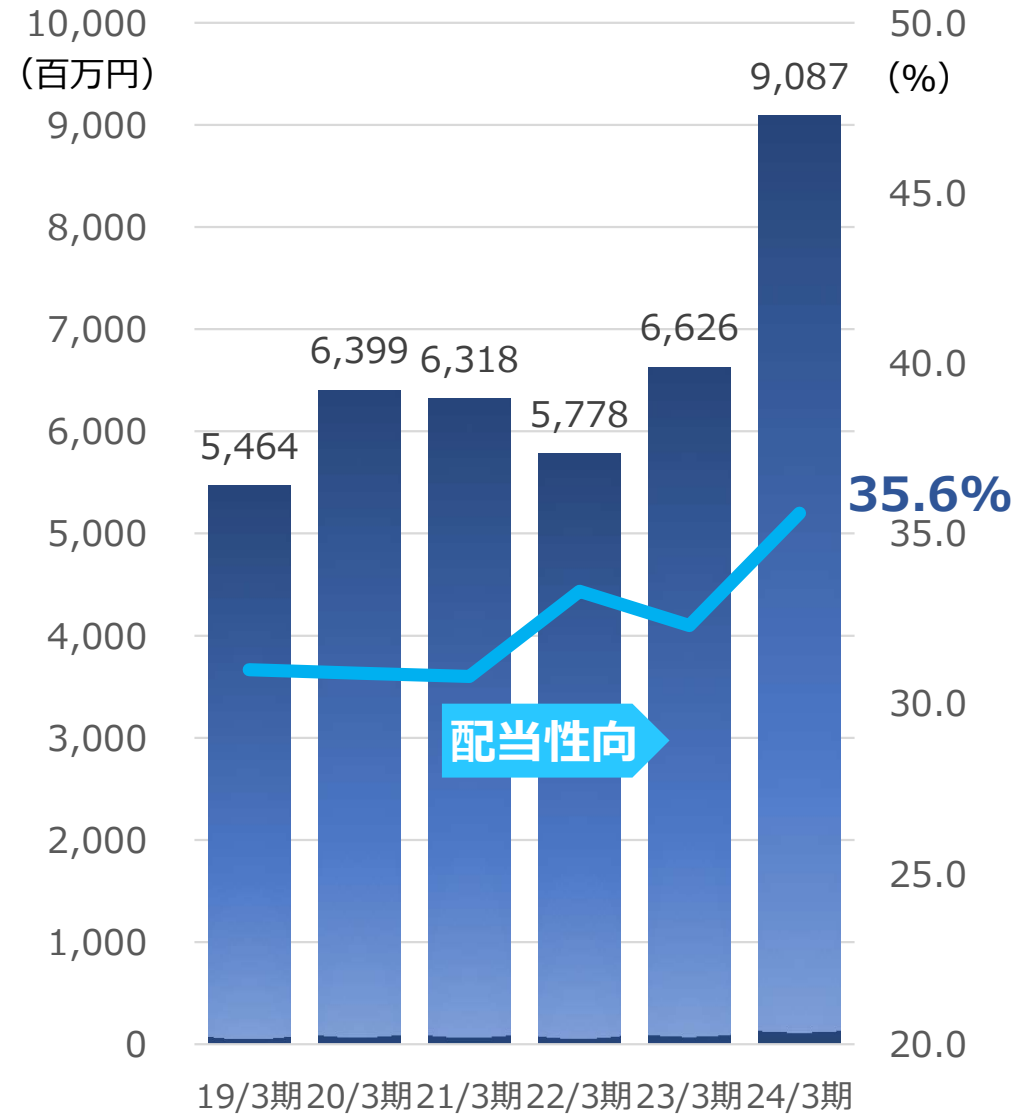
長期ビジョン Stage2030



一株当たりの配当計



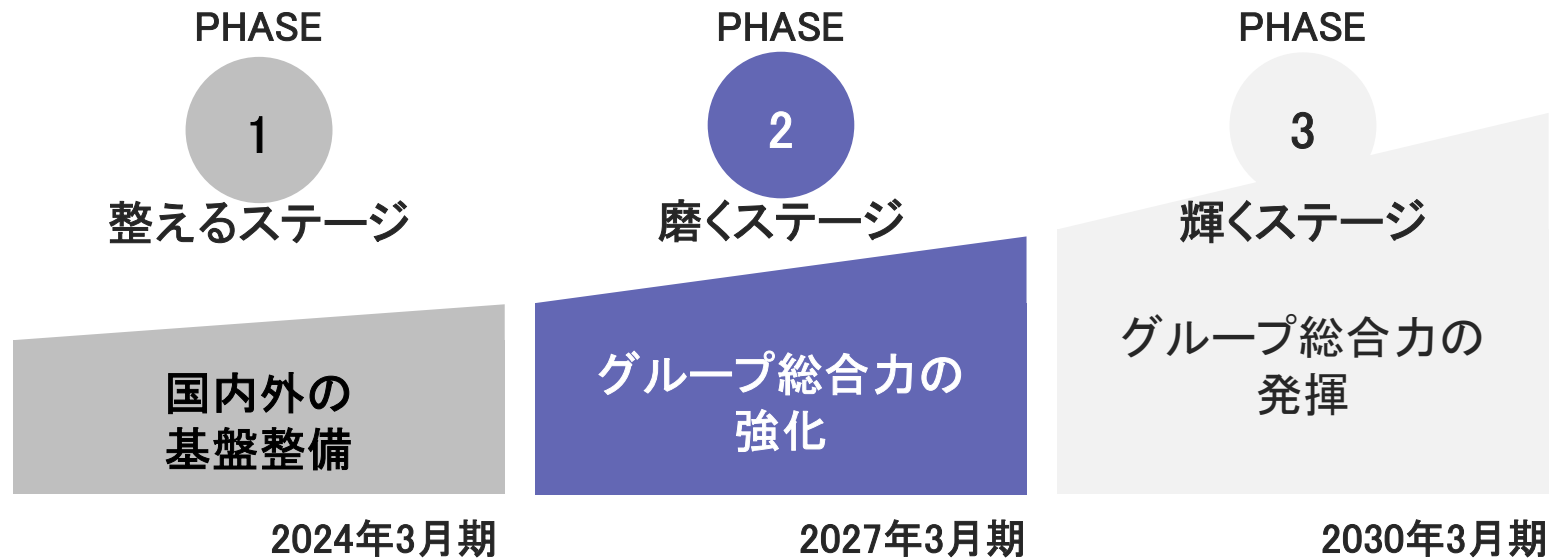
当期純利益 / 配当性向



今後の成長性

中期経営計画

SDGsへの取り組み



企業理念

地球と社会と私たちの未来に、
安全・快適・信頼の空間価値を届ける

長期ビジョン
《Stage2030》

総合設備工事から『空間価値創造』企業へ

信頼される人と組織の
深化

快適・最適な空間の
提供

豊かで持続可能な社会
への貢献

《磨くステージ》 経営方針

人材戦略を基盤とした人づくりの実現により企業価値を高める
1. 採用強化 2. 研修見直し 3. ローテーション

事業領域

空調衛生工事

電気工事

海外事業

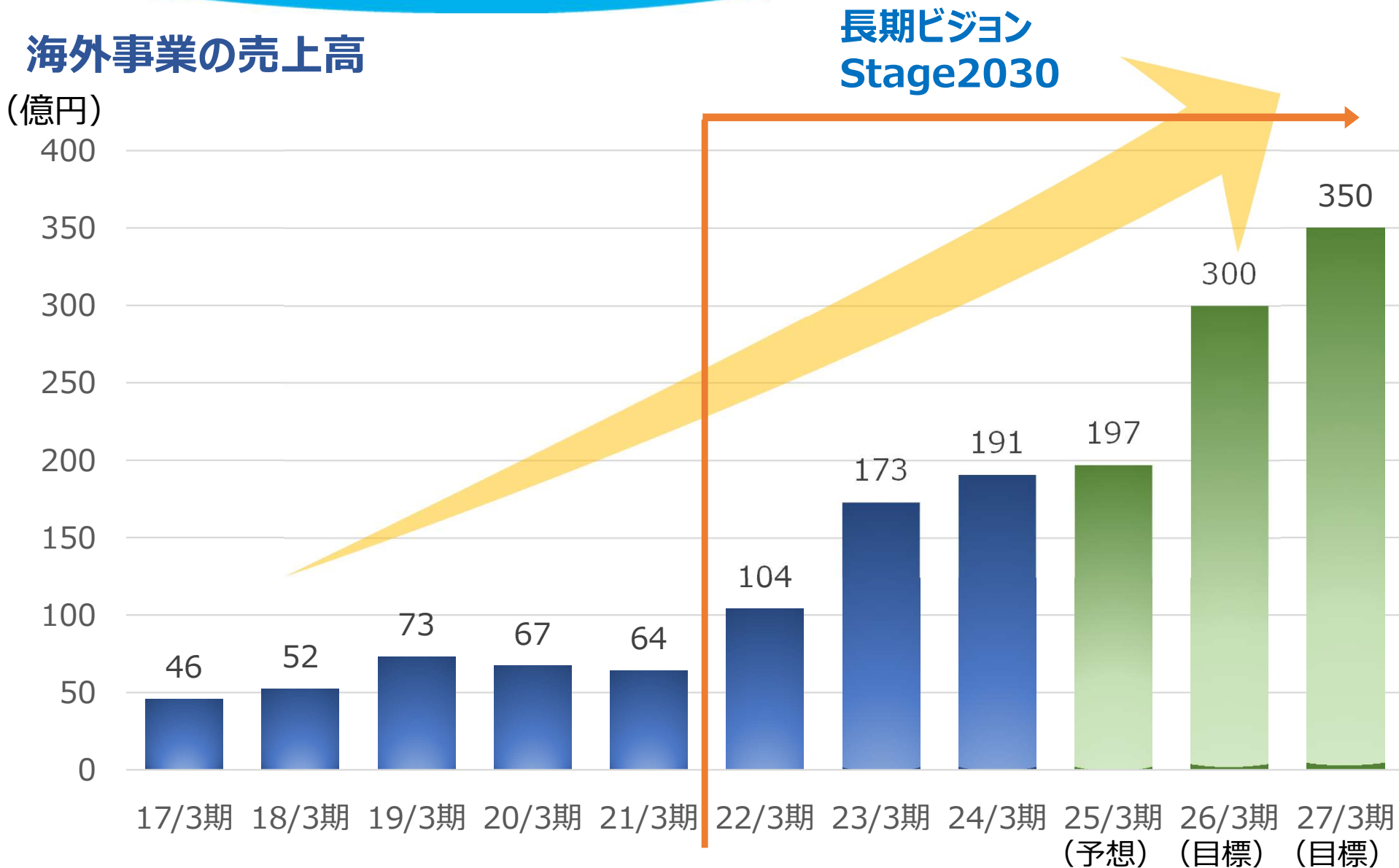
再生医療事業

収益の基盤と
する事業

変革する
事業

成長する
事業

新たな収益源
とする事業



- シンガポールを中心にタイ、ベトナム、台湾で事業を展開
- 売上も40億円台⇒190億円に拡大。今後は350億円を目指す
- 今後は国内外の営業の強化と、技術社員の拡充を図る

6 《磨くステージ》業績目標

	実績	目標		
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
連結売上高	1974億円	2500億円	2500億円	2600億円
連結営業利益	108億円	150億円	150億円	160億円
ROE	10.3%	10%以上	10%以上	10%以上

ダイダンの重要課題 (マテリアリティ)

ステークホルダーに提供する価値

ダイダンがステークホルダーに
提供する価値

関連の深いSDGs

持続可能な社会の構築

カーボンニュートラルへの貢献



人にやさしい空間の提供

サステナブルな社会に寄与する新規事業の推進





これからの建物はZEBを目指します

ZEB

net Zero Energy Building

低炭素化社会の実現に貢献するのがZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）です
ダイダンは総合設備力を生かし、いち早くZEBの開発に取り組み、
業界でもトップランナーに認められています



エネフィス九州
2016年 最も早い時期にZEBを達成



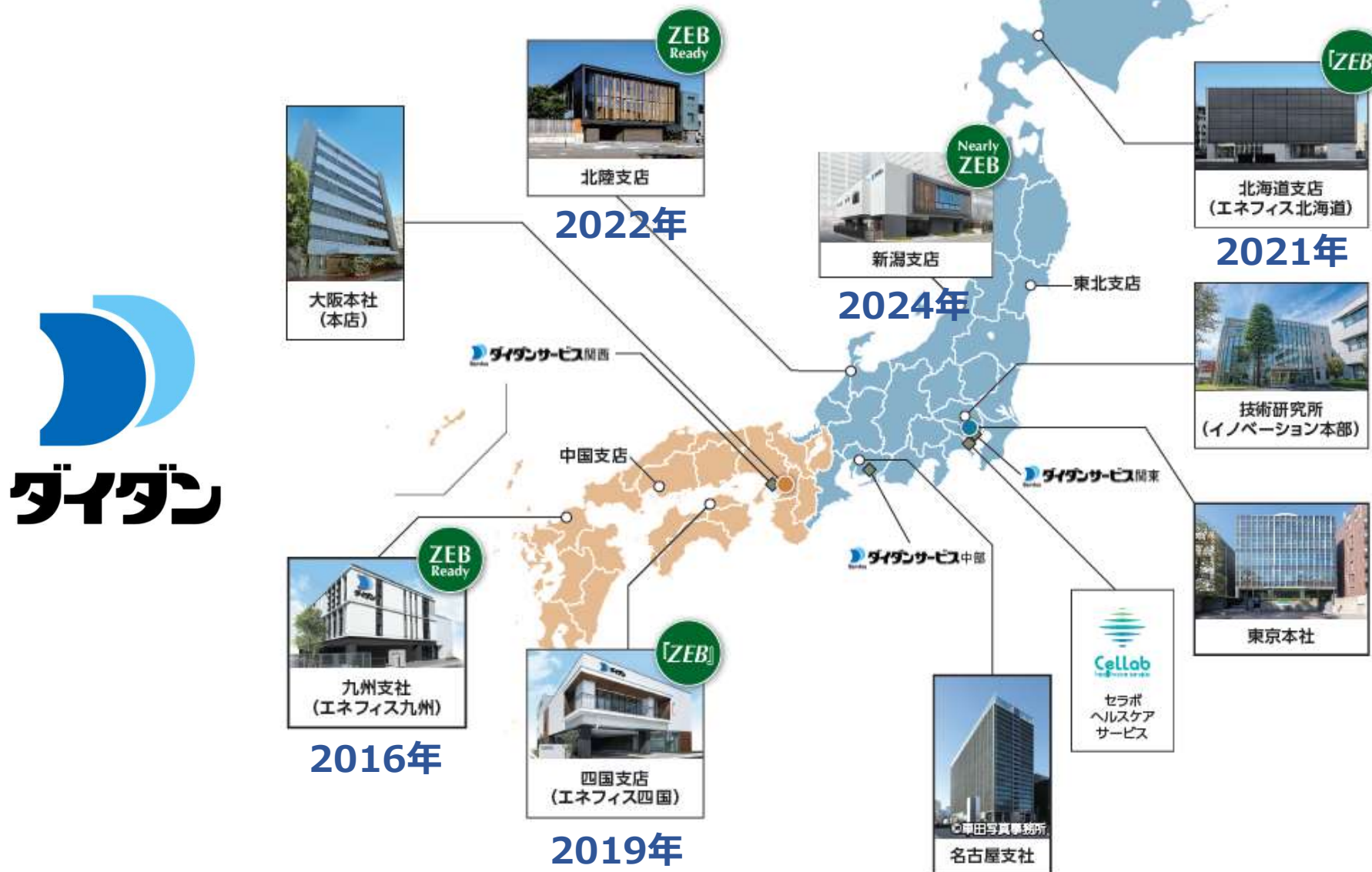
エネフィス北海道
壁面もソーラーパネルの寒冷地『ZEB』



北陸支店 [ZEB Ready]
木材活用で脱炭素、快適性を追求



全国の支店をZEBに建替え



社会課題を解決する新規事業

再生医療分野への挑戦



オープンイノベーション

CPFでの検証



オールインワンCPユニット



セラボ殿町での細胞製造

当社独自の低コストで高品質な細胞加工施設が規制当局に承認

設備業と連携する機器・システム販売の拡大

厚生労働省より「再生医療等製品製造許可」を取得

難治性希少疾患向けがん免疫細胞製品の治験薬を受託製造

工事業に比べ高い利益率

●ハード（機器販売）とソフト（細胞製造）とを両輪とした事業推進



社会課題を解決する新規事業

再生医療分野への挑戦

- 再生医療のバイオベンチャーと提携することで再生医療の実用化に貢献し、SDGsの「すべての人に健康と福祉を」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に寄与する

1. ガイアバイオメディシン (GBM)

- ・ がん免疫製剤を開発。22年4月より治験を開始し、早期承認取得へ向けて申請準備中
- ・ 子会社のセラボヘルスケアサービスでは製造業許可を取得し、24年度より受託製造を開始

2. クオリプス (CRP)

- ・ 大阪大学澤教授が主導し、iPS細胞による心筋細胞シートを開発
- ・ 製造施設へ当社開発の“エアバリアCPF”を導入

3. ビジョンケアセルセラピー (VCCT)

- ・ 再生医療のリーダー的存在の高橋政代先生が代表の網膜細胞を用いた再生医療ベンチャー
- ・ 病院内に当社開発の“オールインワン・ユニット”を導入

ここにも『ダイダン』が見られます

日経突出し



東京ドーム看板



TV CM



東海道新幹線車内



ありがとうございました

